

阿寒摩周国立公園

公園区域及び公園計画の変更 (一部変更)

ご説明の流れ

1. 阿寒摩周国立公園について
2. 今回変更(一部変更)について
3. パブリックコメントの対応について

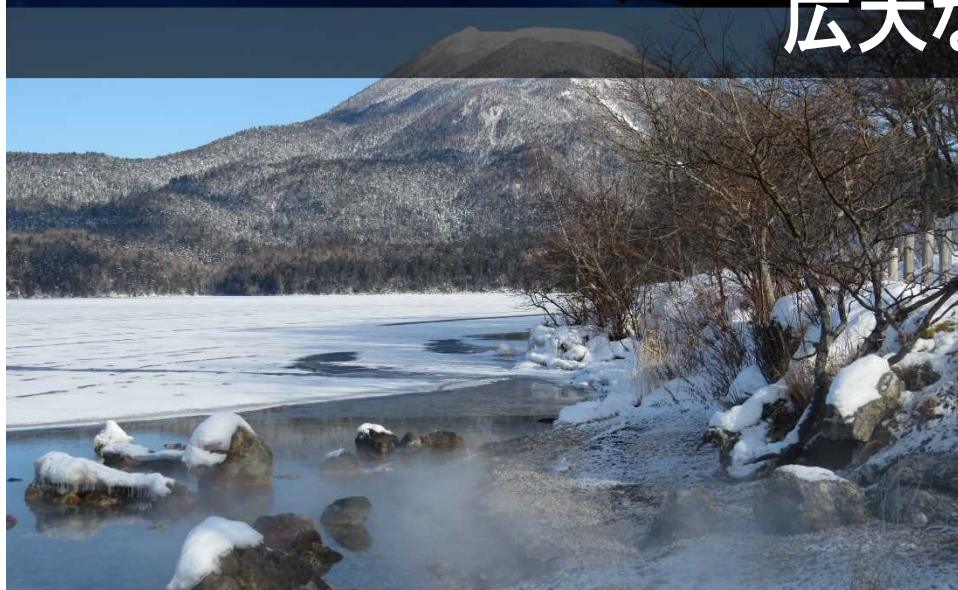
ご説明の流れ

1. 阿寒摩周国立公園について
2. 今回変更(一部変更)について
3. パブリックコメントの対応について

阿寒摩周国立公園の概要



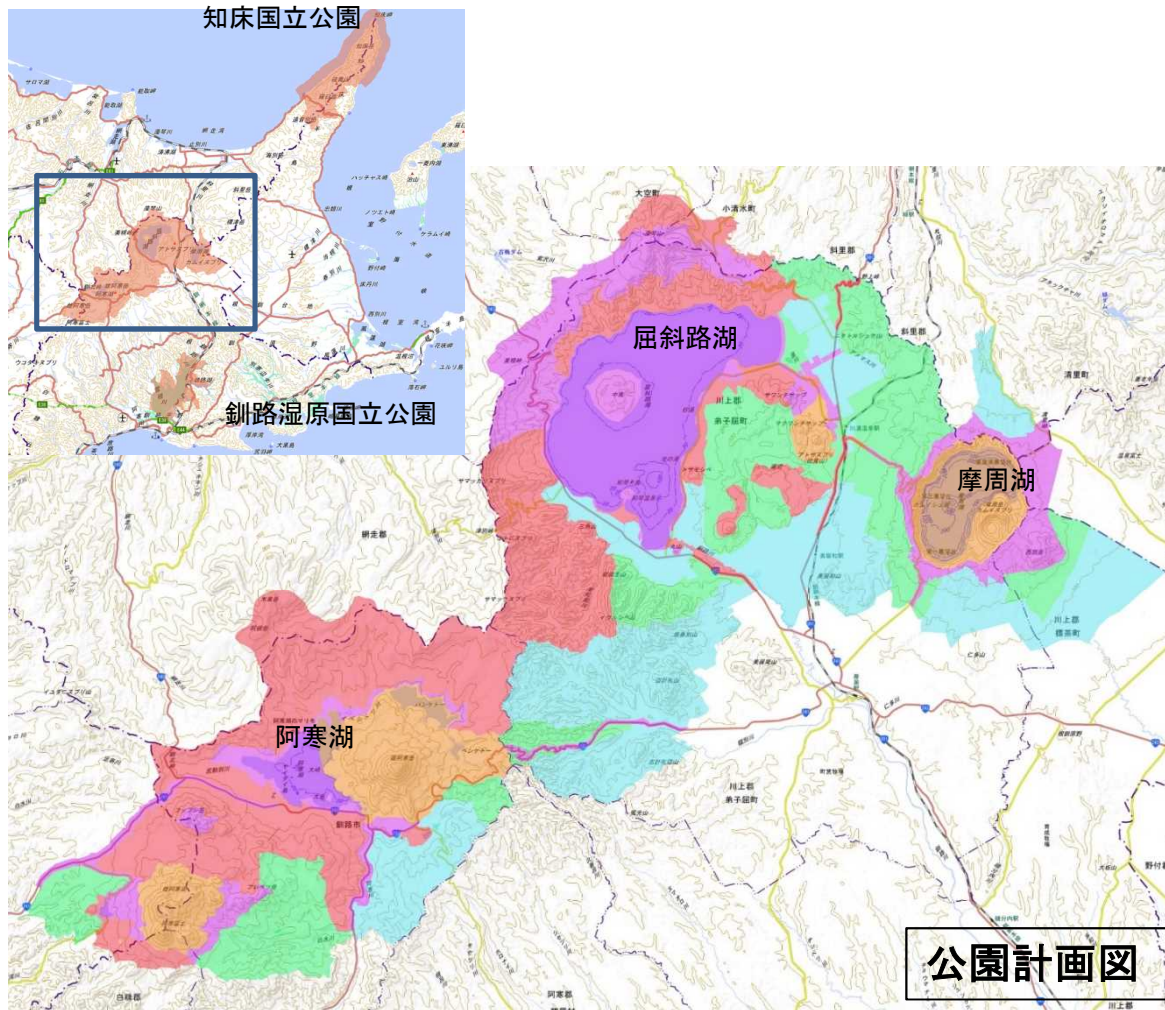
日本最大のカルデラ地形、火山・森・湖が織りなす
広大な景観



阿寒摩周国立公園の概要

指定：昭和9年12月4日

面積：91,413ha



●風景形式

千島火山帯の活動によって形成された阿寒・屈斜路火山群と、カルデラ湖や火山性堰止め湖等の湖沼、火山活動と密接に関連して生じた北方針葉樹林及び北方針広混交林が織りなす豊かな原生的景観

●見直しの経緯

- 昭和9年 阿寒国立公園指定
- 昭和13年 特別地域の指定
- 昭和29年 特別保護地区の指定
- 昭和52年 公園計画再検討(地種区分設定)
- 昭和62年 公園計画第1次点検
- 平成2年 乗入れ規制区域等指定
- 平成5年 公園計画第2次点検
- 平成10年 公園計画第3次点検
- 平成15年 公園計画の変更(公園事業の追加)
- 平成25年 公園計画第4次点検
- 平成29年 公園計画第5次点検(名称変更)
- 令和2年 一部変更(今回)**

ご説明の流れ

1. 阿寒摩周国立公園について
2. **今回変更(一部変更)について**
3. パブリックコメントの対応について

今回変更のポイント

国立公園満喫プロジェクトを推進するにあたり、必要な以下の変更を行う。

①保護規制計画の変更

→屈斜路湖における適正な利用の推進のため、車馬等乗入規制区域の指定を行う。また、西別岳において植栽等規制植物及び区域の指定を行う。

②利用施設計画の見直し

→区域内のトレイル利用を推進するための歩道計画の追加等を行う。

③保護施設計画の追加

→阿寒湖において球状マリモ生育地再生のため、植生復元施設を追加する。

①保護規制計画の変更

●乗入れ規制区域及び期間

→屈斜路湖全域において、乗入れ規制区域の指定を行う。

●植栽等規制植物及び区域

→西別岳において、コマクサを植栽等規制植物とする。

①保護規制計画の変更

●乗入れ規制区域及び期間の設定

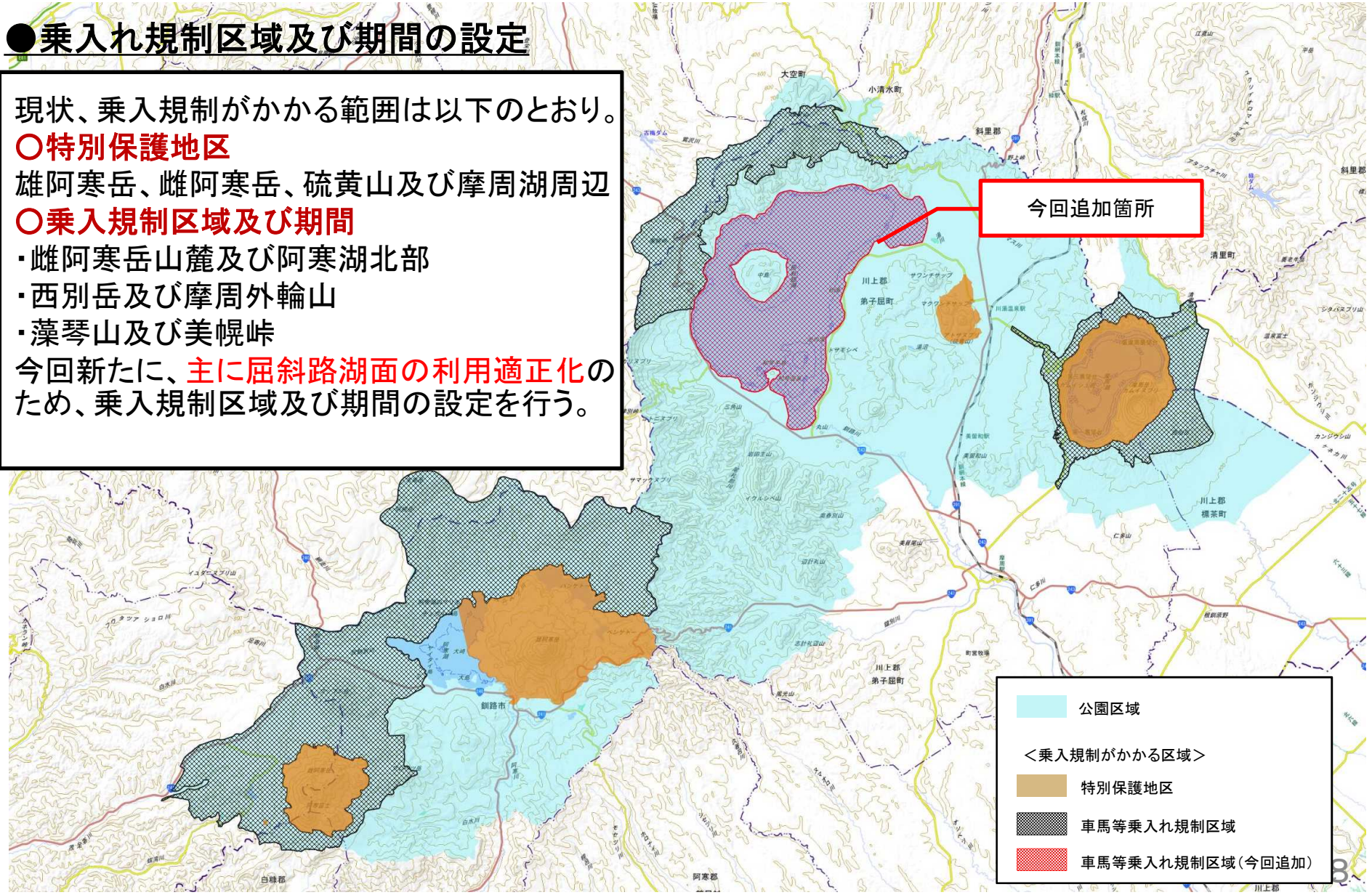
現状、乗入れ規制がかかる範囲は以下のとおり。

○特別保護地区
雄阿寒岳、雌阿寒岳、硫黄山及び摩周湖周辺

○乗入れ規制区域及び期間

- ・雌阿寒岳山麓及び阿寒湖北部
- ・西別岳及び摩周外輪山
- ・藻琴山及び美幌峠

今回新たに、**主に屈斜路湖面の利用適正化**のため、乗入れ規制区域及び期間の設定を行う。



①保護規制計画の変更

●乗入れ規制区域及び期間の設定(これまでの検討の経緯)

○屈斜路湖では、水上バイクや釣り船等の動力船による暴走行為や湖岸各所での無秩序な発着等が十数年来繰り返されており、風致や利用の安全性が損なわれていた



○屈斜路湖適正利用連絡協議会において自主ルールを策定。HPや発着場(ウォータースポーツ交流公園)での案内や毎年のシーズンに行う合同巡視などを通してルールの遵守を呼びかけてきたが、ルールを守らない利用者が跡を絶たず。



○2018年以降、ルールが守られない場合に屈斜路湖の動力船利用を制限する可能性について同協議会で言及。そのような状況でも依然としてルールを守らない利用者が減らず。



○2020年8月3日に開催された同協議会において、乗入れ規制区域及び期間を設けるよう環境省へ要請することについて弟子屈町長より表明



合同巡視の様子



動力船で混雑する様子

①保護規制計画の変更

●乗入規制区域及び期間の設定(これまでの検討の経緯)

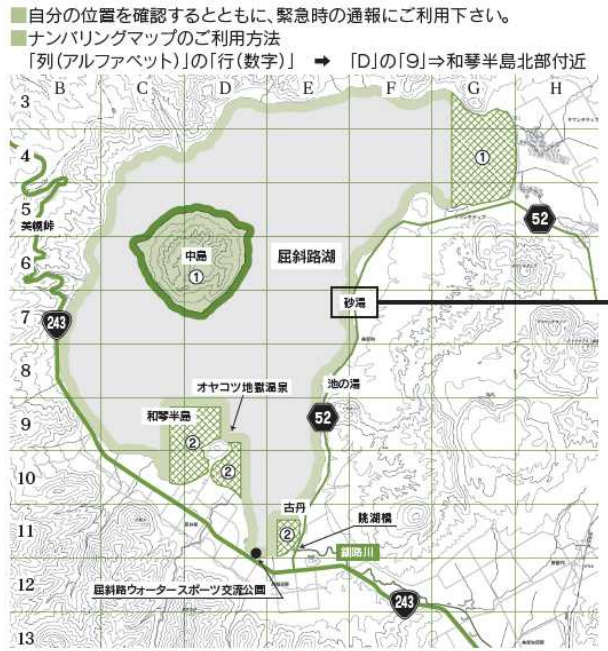
屈斜路湖適正利用連絡協議会による自主ルール(抜粋)

屈斜路湖を利用する上でのルール

- 最大限の安全確保に努めて下さい。
- 屈斜路湖は、突風や独特の風向きの変化といった、予想できない気象現象がおこりますので十分注意し、悪化のおそれがあるときは、すみやかに上陸して下さい。
- 公共発着場は、屈斜路ウォータースポーツ交流公園となっています。なお、一時的に着岸する場合は、自然環境・遊泳者等、周囲の状況に十分注意して下さい。
- 屈斜路ウォータースポーツ交流公園を利用の際は、事前の利用登録と受付の手続きをして下さい。(P5～7)
- 利用後は、着艇を受付に報告して下さい。
- 原生的な森林生態系等、貴重な自然環境の保全のため、中島への上陸は規制されています。
- オオハクチョウ等の野生動物を脅かさないよう、ご注意ください。
- 発生したゴミ等は各自の責任において持ち帰り、燃料・オイル等の投棄は絶対にして下さい。
- 水生植物の保全など屈斜路湖の自然環境に配慮した利用をして下さい。
- 動力船は、午前8時以前・午後5時以降の航行は自粛して下さい。
- レジャーでの利用には、立入禁止区域と航行禁止水域、自粛水域が設定されています。(P3図、4図)
- 無動力船は、陸上に見張りや緊急連絡員を配置して下さい。
- 屈斜路ウォータースポーツ交流公園周辺での遊泳は禁止します。
- 冬季の氷上散策等については、地熱が高いため薄氷となる箇所が、湖岸近くに点在するので、ご注意ください。
- 船舶操縦者は海上法規を厳守して下さい。
- 陸上でのエンジン始動、空ぶかし等は絶対しないで下さい。
- 消音機(マフラー)等を改造した動力船の利用は禁止します。
- 離岸・着岸については、テッドスロー(微速)で航行して下さい。
- 遊覧船の航路には近づかないようにしましょう。
- その他、住民、観光客、キャンプ場利用者などの迷惑となる行為はしないで下さい。

このルールが守られないようであれば、屈斜路湖の利用を制限し、または、禁止する場合があります。

屈斜路湖ナンバリングマップ・動力船航行水域図



- 立入禁止区域、航行禁止水域などの規制エリアを順守してください
- ①中島、仁伏より東側の水域は貴重な自然環境の保全のため立入及び周辺の航行を禁止します
 - ②古丹～釧路川源流付近、和琴半島周辺はカヌー利用者が多いため、動力船航行は禁止します
 - ◎オヤコツ地獄温泉周辺は共用水域です。特に事故防止とゴミのポイ捨て防止にご協力ください
- ※離岸・着岸時など湖岸から沖合200mはテッドスロー(徐行)を徹底し、住民や観光客の迷惑となる行為や危険な行為は絶対しないでください

①保護規制計画の変更

●乗入規制区域及び期間の設定

指定範囲: 屈斜路湖全域 (7954ha)
期間: 4月～12月
(結氷しない時期に限定)

※指定にあたっては事前に期間を設けるなどし、十分な周知に努める。



屈斜路湖の様子

①保護規制計画の変更

○植栽等規制植物及び区域の追加(西別岳)

西別岳周辺においては元々コマクサの自生は確認されていなかったが、近年コマクサが人為的に持ち込まれ、実際に生育が確認。



道内においても樽前山や羊蹄山、天塩岳においてコマクサの播種→定着に結びついた事例が存在し、これらの山域と同様、高山風衝荒原が山頂部に存在することから見ても、西別岳に今後コマクサが定着する可能性は否定できない。



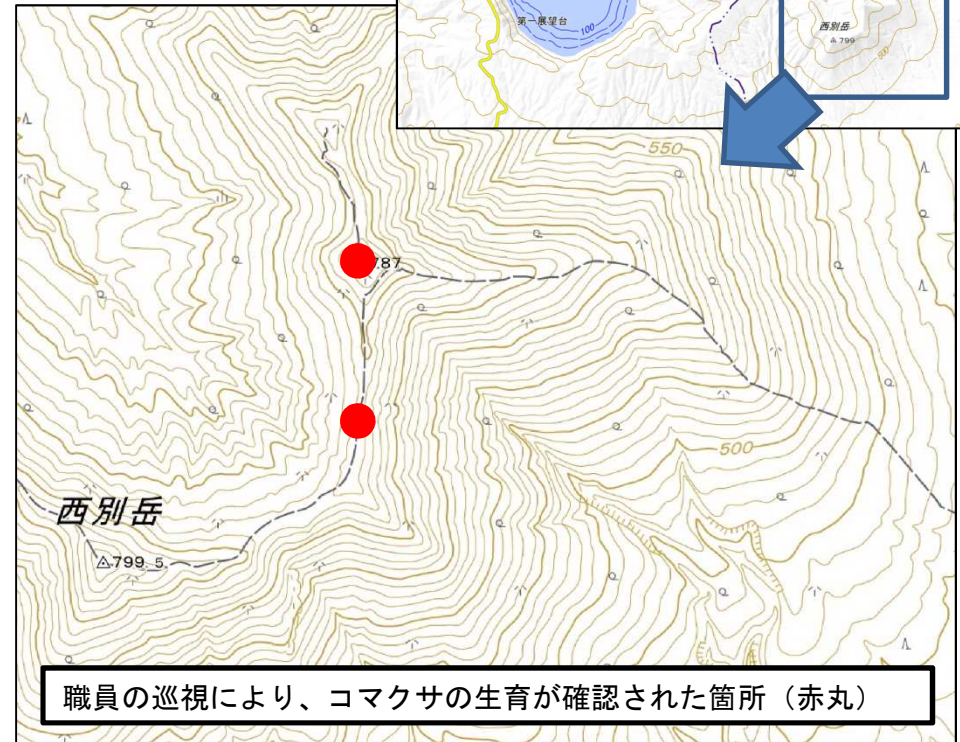
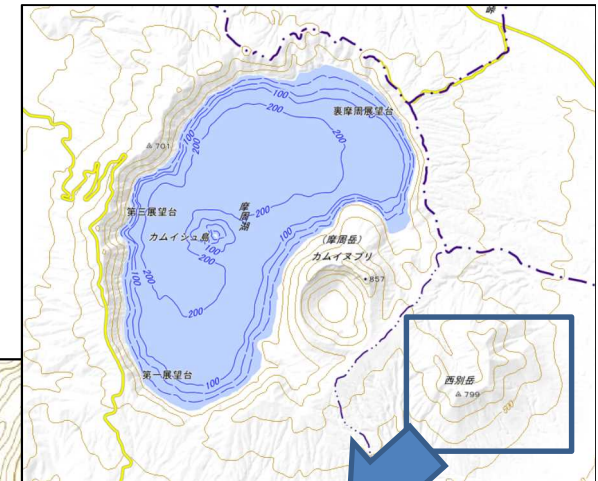
専門家ヒアリングを踏まえ、予防原則の観点から、初期段階での対応が必要と判断



確認されたコマクサ



西別岳の様子



①保護規制計画の変更

○植栽等規制植物及び区域の追加(西別岳 第一種特別地域)

以下の観点から、コマクサの植栽等規制について、明確な区域を指定。

- ・人為的な持ち込みの可能性が特に考えられる及びその周辺を内包する範囲
- ・コマクサの生育が可能と考えられる範囲



今回追加区域(853.5ha)



登山口における周知

②利用施設計画の変更

●集団施設地区の変更

●道路(歩道)及び単独施設の追加・変更

② 集団施設地区の変更

○ 阿寒湖畔集団施設地区の拡張(81ha→106.1ha)

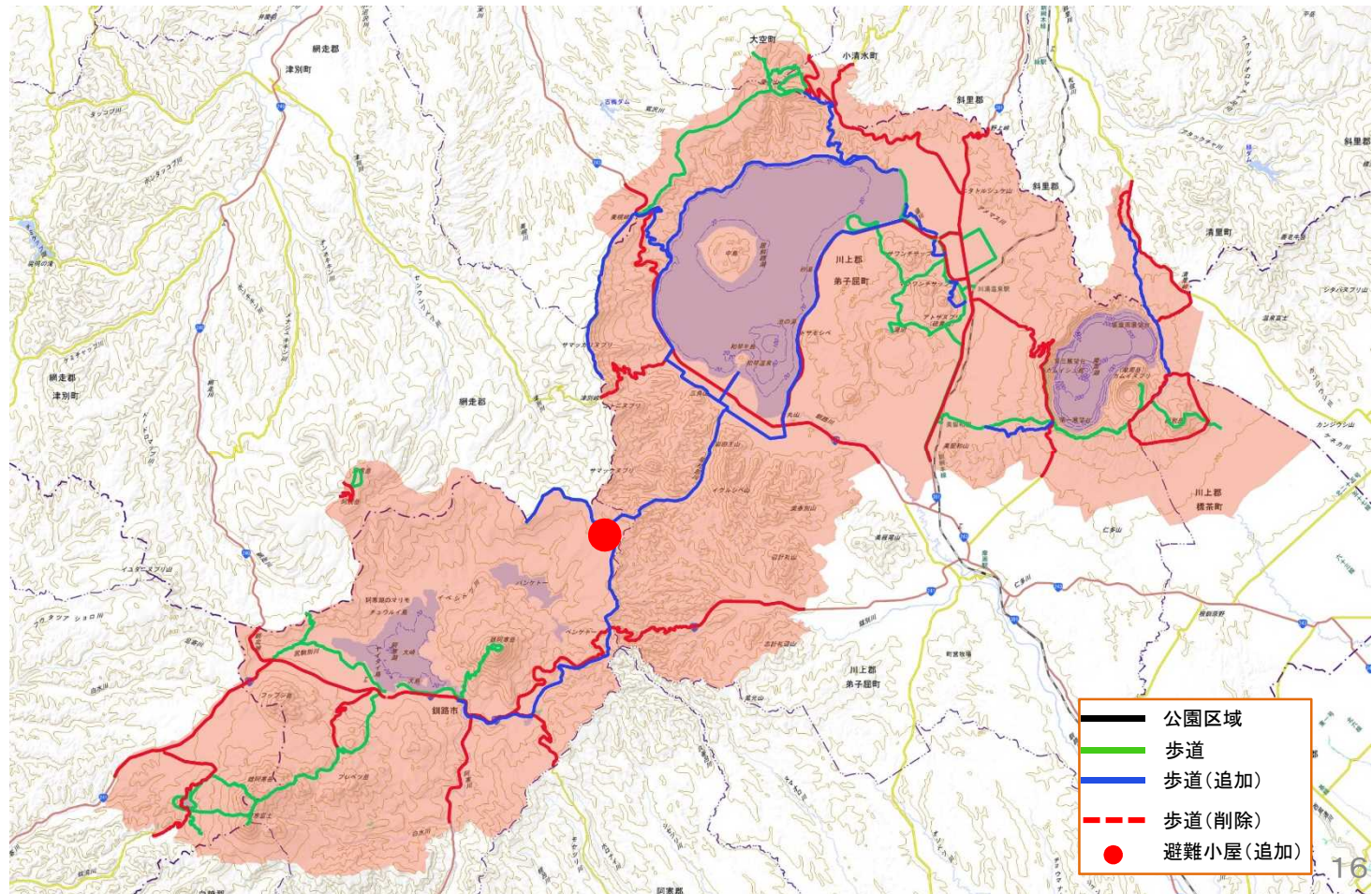
阿寒湖に面し、周囲はミズナラ、ハンノキ、アカエゾマツ等の針広混交林に囲まれた温泉地となっており、年間52万人(令和元年度)の宿泊利用者がある。集団施設地区内の園路と一体的に管理されている歩道(森のこみち)が含まれる範囲について、区域への編入を行う。



②利用施設計画の追加

○道路(歩道)及び単独施設の追加・変更

阿寒摩周国立公園ステップアッププログラムにおいては、広域的な取り組みとして、「**地域の魅力を生かしたロングトレイルの設定**」を進めることとしており、環境省が主体となり、地域において公園内の歩道計画を検討してきた。その結果を踏まえ、今後活用が見込まれる区間を追加。それに併せ必要な単独施設(避難小屋)を追加



②利用施設計画の追加



阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト2021年度以降の取組方針

2021年度以降 の取組方針

- ・2021年のATWS北海道開催を見据え、**アドベンチャートラベルを主要なターゲット**と定め、**消費額の向上、滞在日数の延長等**につながる取り組みを重点化
- ・SDGsの推進を踏まえ、アイヌ文化をはじめとした世界に誇る自然との共生の文化を発信する拠点として**持続可能な観光地として国立公園のブランド化**を図る
- ・2019年1月に改定したステップアッププログラムで新たに掲げた「加速化する主な取り組み」をさらに発展的に展開していく

2021年度以降さらに展開する主な取り組み

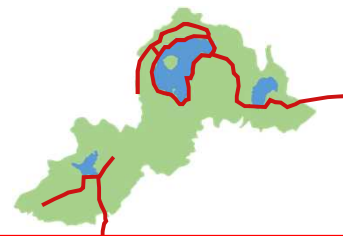
ひがし北海道における ATの玄関口

知床、釧路湿原との連携等、ひがし北海道におけるATを満喫するための入口としての機能を強化



トレイルネットワークの 形成

歩いて長期に滞在する旅行を推進するため、トレイルの整備など**移動しながら楽しめるアクティビティの充実**等を図る



官民連携による 新たな活用の促進

廃屋撤去、公共施設の開放等により**民間投資を促進**
また、**持続可能な仕組みを前提とした官民連携による新たな活用**を検討



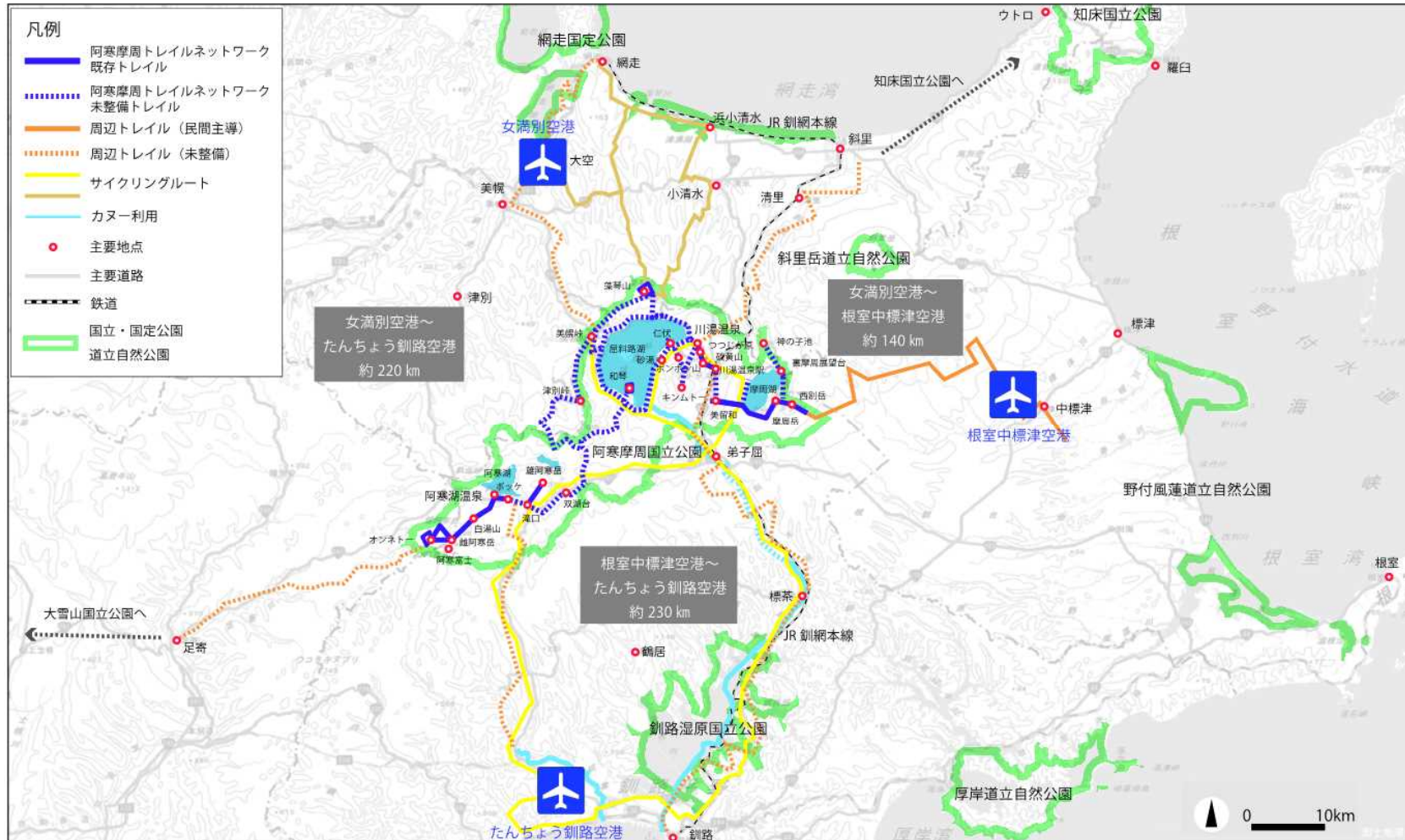
利用者目線での施設 等の改善

多言語化、動線の明確化など、基本的な施設の**利用者目線での改善**に引き続き対応



②利用施設計画の追加

道東3空港を繋ぐロングトレイル構想図

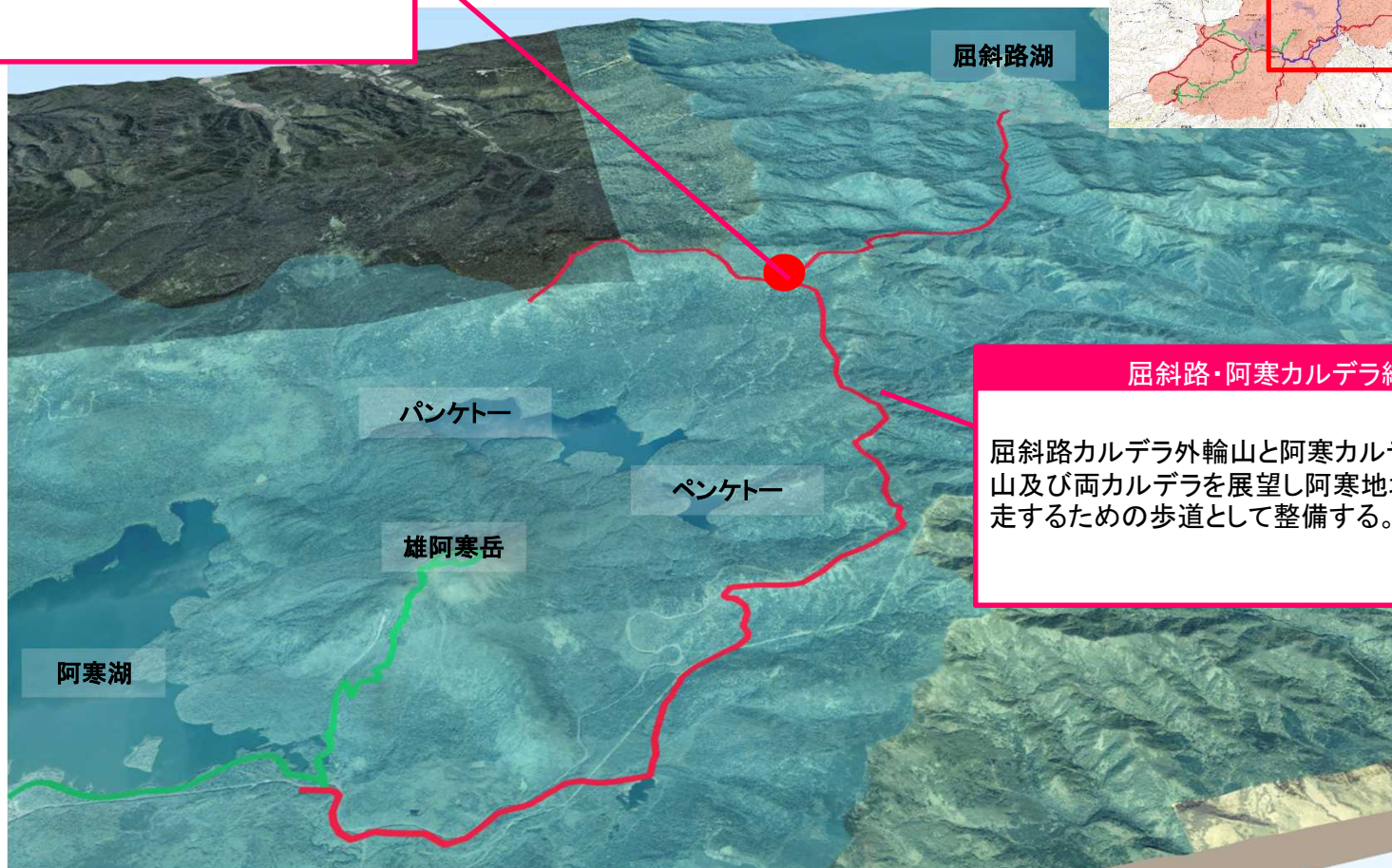
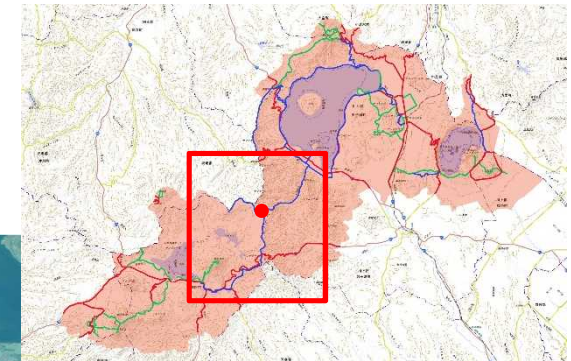


②利用施設計画の追加

○屈斜路・阿寒カルデラ縦走線及び阿寒町舌辛避難小屋計画の追加

阿寒町舌辛避難小屋

屈斜路・阿寒カルデラ縦走線の利用者のための避難小屋として整備する。

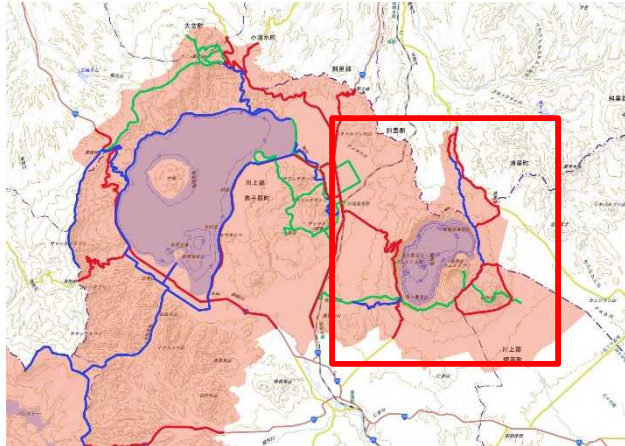


屈斜路・阿寒カルデラ縦走線

屈斜路カルデラ外輪山と阿寒カルデラ外輪山への登山及び両カルデラを展望し阿寒地域と摩周地域を縦走するための歩道として整備する。

②利用施設計画の追加

○神の小池摩周湖探勝線及び美留和摩周湖線の追加



神の小池摩周湖探勝線
摩周湖西別岳探勝線

神の子池から裏摩周展望台への到達及び摩周湖の展望のための歩道として整備。
また、裏摩周園地からも西別岳、摩周岳へと登頂可能な登山道とするため、歩道の延長を行う。



美留和摩周湖線

美留和から摩周湖への探勝歩道として整備する。

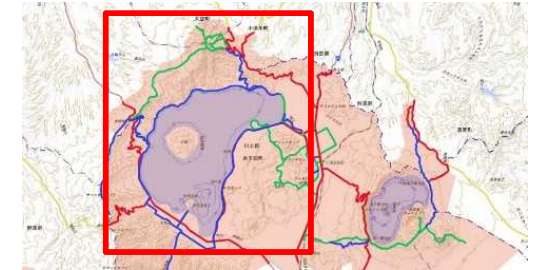


②利用施設計画の追加

○屈斜路湖周辺における歩道計画の追加・変更

(追加) 屈斜路湖美幌峠接続登山線、屈斜路湖藻琴山接続登山線
川湯温泉川線

(変更) 屈斜路湖北西外輪山線、屈斜路湖周回線



屈斜路湖美幌峠接続登山線

屈斜路湖から藻琴山八合目への登山により屈斜路カルデラ外輪山に接続するための歩道として整備する。



屈斜路湖藻琴山接続登山線

屈斜路湖から美幌峠への登山により屈斜路カルデラ外輪山に接続するための歩道として整備。



川湯温泉川線

川湯温泉から屈斜路湖に流れ込む温泉川沿いを探勝する歩道として整備



屈斜路湖周回線

屈斜路湖の周回及び和琴半島到達するための探勝歩道として整備する



屈斜路北西外輪山線

屈斜路カルデラの北側及び西側の外輪山上を探勝するための歩道として整備する。



②利用施設計画の追加

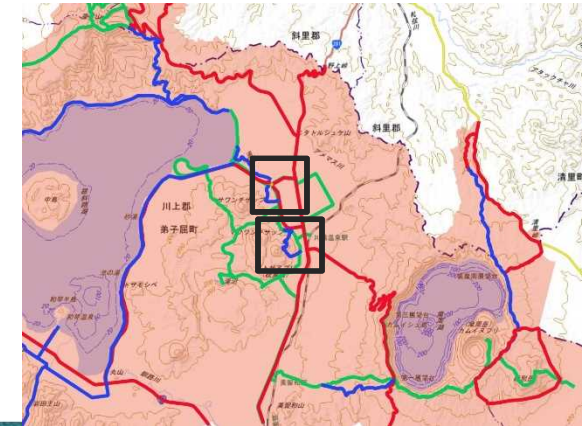
○屈斜路湖周辺における歩道計画の追加・変更

(追加) アカエゾマツの森探勝路

(変更) 川湯硫黄山線

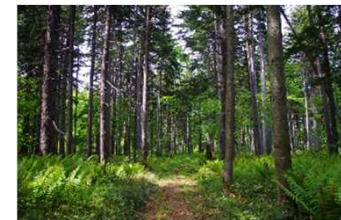
川湯硫黄山線(路線の延長)

イソツツジ及びハイマツ群落、
自然林の探勝、硫黄山の探勝
及び登山のための歩道として
整備する。



赤エゾマツの森探勝路線

川湯博物展示施設
を中心とした自然
探勝フィールド及
び川湯硫黄山線に
向かうための歩道
として整備する。



③保護施設計画の追加

●植生復元施設の追加

→阿寒湖のシュリコマベツ湾において、マリモ生育地再生のための施設を追加する。

③保護施設計画の追加

●シュリコマベツ湾植生復元施設の追加(経緯)

阿寒湖は現在世界で唯一、大型の球状マリモが生育する湖として世界的に有名。

阿寒湖では、20世紀初頭から行われた森林伐採や電源開発が始まると同時に、シュリコマベツ湾等において土砂の流入や湖水面の低下などにより、球状マリモ群生地が消失。

マリモ衰退に早くから危機感を持った当該地域においては、「阿寒湖のマリモ保全対策協議会」(現「阿寒湖のマリモ保全推進委員会」)において平成24年2月に「マリモ保護管理計画」を策定するなど、調査研究や保護に関する取り組みが行われている。



「マリモ保護管理計画」において、シュリコマベツ湾におけるマリモ生育地の復元再生と、「マリモを学ぶ場・マリモと触れ合う場」とすることについて言及。



③保護施設計画の変更

●シュリコマベツ湾植生復元施設の追加

シュリコマベツ湾植生復元施設

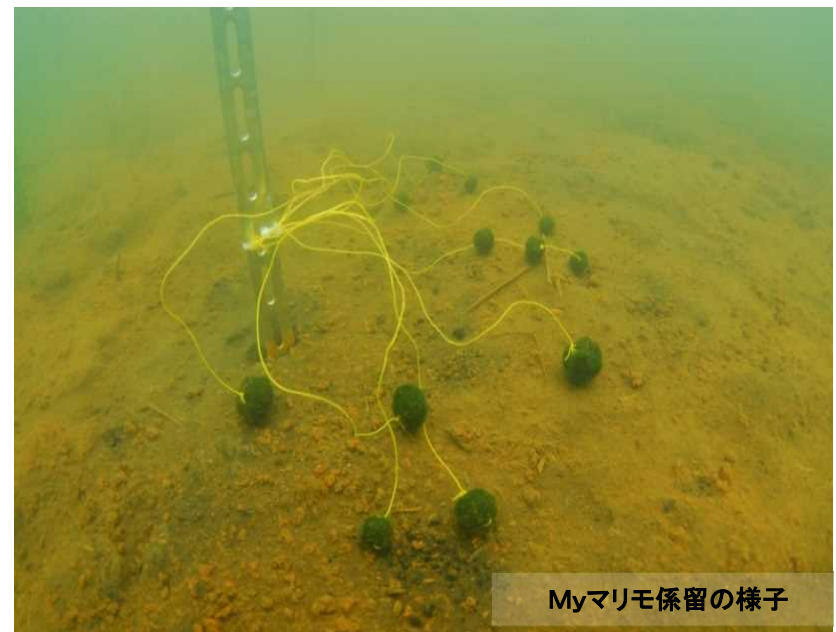
阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトにおいては、シュリコマベツ湾でのマリモ生育地再生の取り組みを体験するプログラムの開発を検討。

シュリコマベツ湾及び周辺の過去の利用状況や現在の生育地再生の取り組みなどから、阿寒湖における人と自然の関わりや、自然との共生に向けた活動を体験的に学ぶプログラムを検討。当該地におけるマリモ生育地の再生を目指す。

試験的に実施された市民参加によるマリモ集塊
(Myマリモ)の作製・係留の様子



シュリコマベツ湾の様子



Myマリモ係留の様子

ご説明の流れ

1. 阿寒摩周国立公園について
2. 今回変更(一部変更)について
3. **パブリックコメントの対応について**

パブリックコメントの実施結果

■概要

・実施期間 令和2年11月10日(火)から11月30日(火)

・意見募集の結果 【意見提出数】

電子メールによるもの

計61通

今回の変更案にかかるもの

計93件